

平成20年3月11日

(社) 日本航空機操縦士協会 事務局長 殿

国土交通省航空局管制保安部運用課長

飛行援助センター（FSC）広域対空送受信サイトの
低高度空域における通信覆域改善について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は航空保安業務の実施にあたり多大なるご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。ごぞいます。

標記につきまして、今後一層の航空機の安全運航及び利便性向上に資するため、平成20年4月1日午前0時から、別添のとおりFSC広域対空送受信サイトの低高度空域における通信覆域改善を図ることとしましたので、お知らせ致します。

つきましては、傘下会員の皆様への周知についてご協力方よろしくお願いいたします。

FSC広域対空送受信サイトの 通信覆域が改善されます

FSC広域対空送受信サイトと同じ周波数の子局を設置し
通信覆域の改善を図ります

改善されるエリア(平成20年4月1日午前0時から)

大阪FSC 瀬戸内エリア

サイト	瀬戸内子局(三国山サイトの子局)
周波数	135.6MHz
呼出符号	OSAKA INFORMATION
運用時間	24時間

瀬戸内エリアにおける通信覆域の改善



瀬戸内子局(三国山サイトの子局)は高松VORTAC付近に設置されます。

広域対空送受信サイトまたは子局が停止した際の運用・周知

- (1) 広域対空送受信サイトが運用を停止した場合は、子局も同時に停止されます。広域対空送受信サイトの停止に係るノータムが発出されます。
- (2) 子局が運用を停止した場合は、広域対空送受信サイトのみの運用となります。広域対空送受信サイトは継続して運用していることから、子局の停止に係るノータムは発出されません。

今後の展開(平成21年度予定)

